

京都市はぐくみプラン（京都市子ども・若者総合計画）※の進捗状況等

※以下「計画」と表記

1 全体概要

令和 5 年 5 月に、新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したことに伴い、コロナ前の取組の形へ戻ってきているものが多く、計画は概ね順調に進捗しているものと考えられる。

年度	施策数		
		推進中	着手前
令和 5	2 1 0	2 1 0	0

2 令和 5 年度における主な成果

(1) 子ども医療費支給事業制度の拡充

3 歳から小学生までの通院に係る一部負担金について、令和 5 年 9 月から自己負担上限額を 1 か月 1,500 円から 1 か月 1 医療機関につき 200 円へ引き下げ

(2) 保育所等待機児童ゼロの継続

令和 6 年度当初時点で、11 年連続となる保育所等待機児童ゼロとともに、13 年連続となる学童クラブ事業待機児童ゼロを達成

(3) 地域や民間団体による子ども食堂など子どもの居場所づくりの取組への支援

令和 2 年度から引き続き「子どもの居場所づくり「支援の輪」サポート事業」を実施した（令和 5 年度実績 相談件数：年間延べ 800 件）

また、子どもの見守り活動に係る経費を補助する京都市子どもの見守り活動支援事業補助金を創設（支給実績：34 件）

(4) 医療的ケア児保育支援事業の実施

保育園において、受け入れ施設の拡充に努め、公民合わせて 12 施設 30 名（市営：2 施設 3 名、民営：10 施設 27 名）、私立幼稚園も含めると、14 施設 32 名の受け入れを行った。

(5) 新しい教育内容に即した施設・設備充実等の推進

特に教育情報化の観点から、本市が目指す子どもの姿や取組の道筋を示す指針として策定した「KYOTO×教育 DX ビジョン」の下、これまでに引き続き、GIGA 端末を授業や家庭学習等の様々な場面で日常的・主体的に活用した。校務面においても、保護者との連絡やアンケート、採点業務等で ICT を効果的に活用するなど、デジタル化を図った。

(6) 子育て家庭が気軽に相談できる環境づくりの推進

令和 6 年 4 月に伏見区の 1 か所で、乳幼児親子のつどいの広場（京都市子育て支援活動いきいきセンター）を新たに実施し、身近な地域における居場所づくりの促進により、気軽に相談できる環境を整えるとともに、支援者が必要に応じて情報提供や助言を行った。

(7) 児童虐待対応に係る児童相談所の専門性の向上と体制強化

児童相談所の体制強化を図るため、相談から支援までをワンストップで対応するため児童相談所の相談課と支援課を集約し、相談支援第一及び相談支援第二課を創設するとともに、主席2名、係長2名、児童福祉司3名、児童心理司4名を増配置し、児童支援の充実等に対応するため児童相談所に企画調整課を創設した。

さらには、職員規模に応じた指揮命令系統の強化や、地域・関係機関との連携をより強化するため、第二児童福祉センター長に部長級職員を新たに配置した。

(8) ヤングケアラーへの支援

ヤングケアラー本人の負担軽減や家事・育児の支援を通じた対象世帯の課題やニーズの把握を目的に、ヤングケアラー世帯向けの訪問支援事業を中京区・右京区でモデル的に実施（支援件数：2件）するとともに、公共交通機関の駅等へのポスター掲示及び支援機関向けの研修会の開催等、広く周知啓発を実施

(9) 子育て支援情報発信事業の充実

京都はぐくみアプリについて、民間事業者の母子健康手帳アプリを活用し、予防接種のスケジュール管理など、乳幼児を中心とした子育て世帯が利用しやすい「京都はぐくみアプリ by 母子モ」としてリニューアル

ウェブサイトについても、子育て支援に係る制度やイベント情報、施設情報等を網羅的に、かつ検索性や機能性を向上させて提供する子育て支援ポータルサイト「はぐくーもKYOTO」としてリニューアル

3 計画の進捗状況を示す指標

項目	計画最終年度 までの目標値	現況値 (令和4年度)	令和5年度 実績値
①妊娠11週以下での妊娠の届出率 【安心して妊娠・出産できる環境】	100%	95.4%	95.7%
②保育所等における年度当初待機児童数 【保育を利用しやすいと実感できる環境】	ゼロの 継続	ゼロ※	ゼロ※
③学童クラブ事業における年度当初待機児童数 【放課後における健やかな育ち】	ゼロの 継続	ゼロ※	ゼロ※
④放課後まなび教室希望児童の登録 【安心して自主的な学びなどができる環境】	100%の 維持	100%	100%
⑤青少年が参画している附属機関等の割合 【若者の社会参加】	50%	53.5%	集計中
⑥京都はぐくみアプリのダウンロード数 【必要な支援情報の到達】	53,000件 (運用開始以 降の合計数)	37,598件	41,487件
⑦児童生徒が在学中に茶道（小学校）、華道（中学校）を体験した市立小・中学校の数 【京都ならではの文化力をいかした学び】	小：全校 中：全校	小：全校 中：全校	小：全校 中：全校

※令和6年度当初時点